

事務事業名		岩手農林統計協会参画事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																																
政策体系	政策名	08: 自立した行政経営の確立			事業期間		予算科目																																
	施策名	34: 効率的で質の高い行政運営の推進					会計	款	項	目	事業																												
	基本事業名	01: 成果重視の行政運営の推進					01	02	05	01	03																												
根拠法令																																							
所属	部課名	商工観光部商工観光物産課			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 - 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																																		
	係名	統計係	電話	27-3111																																			
			内線	112																																			
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 農林水産施策の企画・立案等に利用する統計資料を入手するため、岩手農林統計協会の会員(賛助会員D)として参画している。(構成: 各地方振興局農林部、農業改良普及センター、農業高校、市町村統計主管課、農業協同組合、市町村農業委員会、漁業協同組合など) ・会員として配布を受ける資料 ・農林統計いわて ・岩手農林水産統計年報 ・農作物統計(耕地及び普通作物編) ・地方分析書 農作物統計(野菜・果樹・花き編) 主な業務は、会費の支払、資料の収集、各課希望者への資料提供。 事業費は、会費として支出される。					全体計画 (期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>					総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源				事業費計 (A)	0	人件費		正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計 (B)	0			トータルコスト(A) + (B)	0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																																					
		都道府県支出金																																					
		地方債																																					
		その他																																					
		一般財源																																					
		事業費計 (A)	0																																				
人件費		正規職員従事人数																																					
		延べ業務時間																																					
		人件費計 (B)	0																																				
		トータルコスト(A) + (B)	0																																				

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	単位
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア 加入団体数	団体
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		イ	
		ウ	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ 資料種類数	種類
		キ	
		ク	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ 農林水産統計資料の利用件数	件
		シ	
		ス	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費 財源内訳	単位						
		千円						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	12	12	12	11	11	11
	事業費計 (A)	千円	12	12	12	11	11	11
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	1	1	1	1	1	1
	人件費計 (B)	千円	4	4	4	4	4	4
	トータルコスト(A) + (B)	千円	16	16	16	15	15	15
活動指標	ア	団体	1	1	1	1	1	1
	イ							
	ウ							
対象指標	カ	種類	5	5	5	4	4	4
	キ							
	ク							
成果指標	サ	件	30	30	15	15	15	12
	シ							
	ス							

事務事業ID	0429	事務事業名	岩手農林統計協会参画事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和26年に農林水産業に関する統計調査の改善及び農林統計知識の普及向上を図り、農漁村の進歩発展に寄与することを目的に岩手農林統計協会が発足した。この目的に賛同し、開始年度は不明であるが賛助会員として参画した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

岩手農林統計協会は、市町村合併や農協、漁協の合併等により会員数が減少する傾向にあり、安定した組織・財政基盤の確立が課題となっている。このことから協会においては、会員の確保、会費の値上げ、配布資料の見直し等についての検討が進められている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

なし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 各種農林水産業施策の推進に当たっては、企画・立案・分析の基礎資料となる統計資料が不可欠であり、統計資料の入手は計画的で質の高い行政運営に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 市が実施する農林水産施策の基礎資料を入手するものであり、妥当である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 岩手農林統計協会の会員は、特別賛助会員、賛助会員A～D、一般会員で構成されており、個人の加入する一般会員を除くと市は最も会費の低い会員である。また、協会発行の統計資料は、ほかに入手する方法がない。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 統計係で行っている事務内容は、会費の支払と統計資料の保管のみである。統計資料の有効活用や協会の目的である農漁村の進歩発展に係る事業等への参加を考慮すると、農林水産主管課で担当したほうがより効果が得られる。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 農林統計協会参画によって得られる統計資料は、市の農林水産施策の企画・立案に不可欠であり、ほかに入手方法がない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 類似事業がない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 会費は、最低ランクであり、これ以上削減できない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] これまでも業務時間は無しに等しく、これ以上削減できない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 市の農林水産施策に利用するものであり、公正である。

事務事業ID	0429	事務事業名	岩手農林統計協会参画事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 岩手農林統計協会から配布された資料は、農林、水産主管課等で効果的に活用された。資料入手だけの協会参画ではなく、農林水産施策に、より効果的な事業とするために所管替への検討が必要である。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 岩手農林統計協会発行の資料をより効率的、効果的に活用するためには、実際の資料利用者の意見が反映されるべきである。主な利用者は農林水産所管課であり、この事業の所管も農林課または水産課である方が有用である。 また、協会主催の農林水産行政に関する意見交換会や研修会が実施されることもあり、統計係からの参加は直接成果に結びつかない。農林課または水産課で所管することにより協会の目的である「農漁村の進歩発展」に寄与することができる。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 事業の所管替については関係課協議が必要であり、所管替えにあたっては予算計上科目の変更が必要となる。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	商工観光物産課長
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 事業の意図等が的確に把握されており、適切な評価となっている。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☐ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事業の所管替えについて、関係課と協議する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項